

**記入例**

記入前に下欄の[注]を必ずお読みください。

No. 1

**履 歴 書**

履歴書作成年月日

2009年11月7日現在

ふりがな 氏名	いまでがわ たろう	印	※1961 (T. 36年)
	<b>必ず自署のこと。</b>	男・女	11月5日生
		<b>**参照</b>	2010年4月1日現在満48歳

ふりがな	きょうとし かみぎょうく いまでがわどおり からすまひがしいる げんぶちょう	本籍地	都 道 府 県
現住所	〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	京 都	京 都 府 京 都 府 京 都 府
電話	(075) 251-3220		

学歴職歴等の項目別	西暦		学 歴 ・ 職 歴	卒業・修了・退学の別		
	年	月				
学歴	自	1977	4	卒業		
	至	1980	3			
	自	1980	4		卒業	
	至	1984	3			
	自	1984	4		修了	
	至	1986	3			
	自	1986	4		修了	
	至	1989	3			
	職歴	自	1988		4	助教
		至	1989		3	
自		1992	4	助教		
至		1995	3			
自		1995	4	准教授		
至		2001	3			
自		2001	4	教授		
至		現在				
自	2004	4	教授			
至	2009	3				
自	2009	4	教授			
至	現在					

**必ず自署のこと。**

**\*\*参照**

**大学院は専攻があれば必ず専攻名まで記入**

**誤記された場合は二重線で抹消のうえ、訂正印を**

**\*\*採用・昇任等予定年の4月1日現在。(年度途中の採用・昇任等の場合は採用・昇任等日付の満年齢を記入してください。)**

学校法人 同志社

- [注] (1) 氏名は自筆、ペン（黒色）で記入してください。（ただし、氏名以外はワープロ等の使用も可）  
 (2) 専任の場合、満15歳以後の学歴・職歴をもしもご記入ください。  
 (3) 嘱託講師の場合、大学学部卒業以後の学歴・職歴をもしもご記入ください。  
 (4) 賞罰がある場合は、職歴欄の末尾にご記入ください。

2009年 11月 7日現在

氏 名  今出川 太郎	学 位	修士 (スポーツ健康科学)	博士 (スポーツ健康科学)	Ph. D.
	取得年月	西暦1988年3月1日	西暦1989年3月1日	西暦2006年6月1日
	授与機関名	同志社大学	同志社大学	コロンビア大学

医学博士、博士(医学)等の学位名に注意。

項目別	※西暦 年 月	論文・著述・その他
修士論文	1986 3	論文名 例:「論文名」, ●●大学 修士論文 ※英語表記の場合は“Title”
博士論文	1989 3	論文名 例:「論文名」, ●●大学 博士論文 ※英語表記の場合は“Title”

英語表記は「」でなく" "とする。

同一項目の中では、発行年の古い業績から新しい業績の順に記載してください。  
ご本人箇所には「太字・アンダーバー」をしてください。

著書 (単著)	1995	4 書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、総ページ数等 例:「書名」, 発行所名, 著者名(本人), 全●●頁 例:“Title”, 発行所名, 著者名(本人), ●●pages ※英語表記の場合 著作者が1名の場合のみが該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著作者が複数いる場合には、共著に分類してください。
著書 (共著)		書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、(総ページ数)、本人担当部分等 例:「書名」, 発行所名, 著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に) *担当執筆箇所「第●章 タイトル●●」(pp. ●●~●●) 例:“Title”, 発行所名, 著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に) *担当執筆箇所 chapter “Title” ●●, pp. ●●~●● ※英語表記の場合 著作者が複数の場合が該当します。 共著の場合は、原則として本人を含めて共著者名をすべて記載し、本人担当部分が 明確になるように(担当部分の章、節、題名、掲載ページ等)記載すること。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可。

複数ページはppとする。

「原著論文(査読付、査読なしに分ける)」、「総説」、「紀要」、「報告」、「プロシーディング」はそれぞれ項目を分けてください。

原著論文 (査読付)	2009	8 論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 (単著の場合) 例:「論文名」, 著者名(本人), 『掲載誌名』巻・号, pp. ●●~●● 例:“論文名”, 著者名(本人), Journal Title (Vol.,No.), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 (共著の場合) 例:「論文名」, 著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に), 『掲載誌名』巻・号, pp. ●●~●● 例:“論文名”, 著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に), Journal Title (Vol.,No.), pp. ●●~●● ※英語表記の場合 共著の場合は、原則として共著者名をすべて記載してください。 ただし共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可。
---------------	------	--

記入例は2枚目に続きます。

\* 学位欄に学士は記入不要です。

氏 名 今出川 太郎

項目別	※西暦 年 月	論 文 ・ 著 述 ・ そ の 他
総説		例:「論文名」,今出川太郎, 京田辺次郎,『掲載雑誌名』巻・号, pp.●～●
紀要		例:「紀要名」,今出川太郎,『掲載雑誌名』巻・号, pp.●～●
<p>学会発表は「国際学会」と「国内学会」に分けてください。                  またそのうち「口頭発表」と「ポスター」発表に分けてご記入ください。                  単独発表の場合:本人の氏名を記入                  共同発表の場合:発表題目の後に共同発表者名を発表順に記載する。複数の場合は主な発表者3名程度と、他○名、○番目と記入できる。</p>		
学会発表 【国際】 (口頭発表)		<p>題名、発表者名、発表学会大会名、開催地等</p> <p>例:「題名」, 発表者名, ○○学会第○○回大会, ○○大学</p> <p>例:“題名”, 発表者名, ○○学会, 第○○回大会, ○○大学 ※英語表記の場合</p>
【国内】 (口頭発表)		<p>例:「題名」, 今出川太郎, ●学会第49回大会, ●大学</p>
その他		<p>(業績上参考になるもの)</p> <p>適宜区分を設けて(翻訳、研究ノート、書評、教材、特許等)記載してください。                  辞典の項目執筆等はこの項目になります。</p> <p>「総説」、「学会抄録」、「依頼原稿」等にあつては当該記事のタイトルを                  「報告発表」、「座談会」、「討論」等にあつては当該テーマを記入してください。                  なお、英語表記の場合“Title”等の表記にしてください。</p>
翻訳		<p>書名、発行所名、訳者名、総ページ数、原著者名、原著名等</p> <p>例:『訳書名』(発行所名)、訳者名、総ページ数[原著者名、原著タイトルなど]</p> <p>共訳の場合は、共著の場合に準じて、共訳者や本人担当部分がわかるように記載してください。なお、英語表記の場合“訳書名”等の表記にしてください。</p>

業績書記入時点において、**刊行されていないもの(近刊、印刷中)は、本業績書には記載できません**ので、ご注意ください。

# 教育業績書

年 月 日

氏名 印

研究分野	研究内容のキーワード

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		(例) 授業外における学習を促進する取り組み, 授業内容のインターネット上での公開
2 作成した教科書, 教材		(例) 授業や研修指導等で使用する著書, 教材等
3 教育上の能力に関する大学等の評価		(例) ①学生による授業評価, 教員による相互評価等の結果 ②各大学における自己点検・評価での評価結果
4 実務の経験を有する者についての特記事項		(例) ①大学の公開講座や社会教育講座における講師, FD関係業務, シンポジウムにおける講演等 ②訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
5 その他		(例) ①大学教育に関する団体等における活動, 教育実績に対する表彰等 ②国家試験問題の作成等 ③教育機関での体育実技指導歴 (●●大学にてソフトボール指導4年等) があればここに記載ください。

## 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許		(例) 医師, 歯科医師, 薬剤師, 看護師, 教員, アスレティックトレーナー等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
2 特許等		(例) 特許, 実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
3 実務の経験を有する者についての特記事項		(例) 大学との共同研究, 各種審議会・行政委員会, 各種ADR等の委員, 行政機関における調査官等, 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表, 調査研究, 留学, 海外事情調査等
4 その他		(例) 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等, 論文の引用実績等

※教育能力の5. その他欄の「教育機関での体育実技指導歴」には、必ず**競技種目**をご記入下さい。

備考：規格はA4とする。

# 競技種目業績書

業績書作成日

2009年 11月 7日

氏名 今出川 太郎 印

○競技業績

大会名	年月日	場所	記録	備考
第●●回全日本学生テニス選手権大会	1995年●月●日	有明テニスの森公園	個人2回戦敗退	

押印忘れにご注意ください。

○指導業績

競技指導歴をお持ちの方はお書き下さい。

年月日	事項	備考
2004年4月1日	●●大学テニス部コーチ (~2006年3月)	

備考:規格はA4とする。